



まごころ便り

令和4年6月14日
荒川区立第七中学校
学校だより 第3号
校長 奥秋 直人

第76回運動会スローガン 勇氣凜凜 ～笑顔で勝利をつかみとれ～

副校長 和田 剛

第76回運動会を6月4日(土)に挙行いたしました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、来賓の皆様方をご招待することができず、保護者の方々の参観も一家庭二名までと制限がある中での実施となりました。当日は好天にも恵まれ、387名の保護者の皆様にご来場いただき、感染対策を行った中ではありましたが、たいへん華やかな雰囲気の中、運動会を実施できました。開会式の入場行進、オープニングの全校生徒によるソーラン節、選手種目や学年種目、クラス旗コンテストと盛りだくさんの内容で運動会を終えることができました。生徒たちの達成感、成就感に満ち溢れた表情が本当に印象的な一日になりました。また、受付や警備を担当していただいたPTAの皆様方、駐輪場の管理やグラウンド内の水まき、テントの片付けなどのお手伝いをしていただいた父親の会の皆様方には、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、学校行事の指導で私が特に大切にしていたことは事後指導でした。当日、皆が盛り上がり楽しい時間を過ごしても、それだけで終わってしまっただけの頑張りから得られるものは半減してしまいます。行事の後、どれだけの学びがあり、どんな成長ができたのかが大切です。今回、全校生徒の運動会終了後の学校生活がどんな様子になるかを見守っていました。校舎内の各教室を見回ると定期考査前ということもあり、どの学年の授業も生徒たちが積極的に発言をしたり、実技教科の作業に集中したりと学習活動に意欲的に取り組む姿がたくさん見られていました。他にも、校内でのあいさつの声が響くようになり時間を守る意識が高まったりと生活面においても成長が見られ、多くの生徒たちが「勇氣凜凜」のスローガンのもと、行事を成功させたことに誇りをもつことができ、着実に学級、学年の生徒たちに成長の跡が見られているような気がします。

人は誰でも毎日が勉強の連続です。どのような立場になっても様々なことを体験し、自らの経験値を上げることで広い視野に立って物事を見る力や、正しく判断し行動する力が養われていくものです。生徒の皆さん、これからも七中の校訓「まごころ」を大切に豊かな人間性を育むことができるよう毎日の学校生活を送っていきましょう。

運動会を終えて

保健体育科主任 来間 詩織

今年度の運動会はコロナ禍の中でも感染対策を行ったうえで、できるだけ例年に近い形での運動会を目指し、実行委員を中心に練習を進めてきました。伝統のソーラン節も3年ぶりの全校ソーランとなり、ソーランリーダーを中心に練習を重ねてきました。当日は練習で積み重ねてきたことを各競技・演技の中で存分に発揮し、七中全員で素晴らしい運動会を作り上げることができたと思います。PTA役員や父親の会の皆様、地域の方々にもたくさんご協力いただきました。ありがとうございました。